

鈴木 弘 睦 議員

北部地域のまちづくり

問 森町袋井インター通り線の整備促進と沿道開発の見解は。

答 整備促進については、本年度から森町袋井インター通り線建設期成同盟会で事業実現に向けたさまざまな調査を静岡県と連携して行う。この成果を踏まえた上で、整備促進を図るとともに、沿道開発の可能性も研究する。また、これからの地域経済の活性化に向けて、行政が持つ信頼性と情報発信力を全面的に生かし、市長自らが先頭に立って、積極的なトップセールスに取り組んでいく。工業、商業、農業、観光などのあらゆる産業分野での情報を発信し、売り込む必要があると考える。今後、少子高齢化や人口減少が進む中で、持続可能な都市づくりには、本路線が大変重要な役割を果たすものと認識している。

投票しやすい環境整備

問 不在者投票などさまざまな投票方法をどう周知し、投票率を向上するか。

答 不在者投票の請求は、現在、紙での申請だが、申請時間短縮と手続き簡略化を図るため電子申請で請求できるようにしていく。市のホームページや広報ふくろい、メローねっと、SNSなどさまざまな媒体で周知を行っていく。



広域ネットワークのイメージ図
※袋井市都市計画マスタープラン抜粋

村井 勝彦 議員

自治会組織の運営に係る課題と支援

問 自治会長の位置付け(身分)は、どのような取り扱いとなっているか。

答 自治会長については、令和元年度までは非常勤特別職として委嘱していたが、地方公務員法及び地方自治法の改正により、非常勤特別職の要件が厳格化されたことに伴い、令和2年度からは有償ボランティアの「私人」として委嘱している。

問 自治会長への謝礼の基準と謝礼の改定の考え方は。

答 自治会長の謝礼については、特に規定は定めていないが、平成24年度に袋井市特別報酬等審議会からの答申により示された月額1万5000円を基準として定めている。また、謝礼金額の改定については、必要があれば検討する。



防犯パトロール車両

防犯まちづくりの取り組み

問 防犯パトロール活動における課題は。

答 防犯パトロールなどの活動の多くは高齢者が担っている状況であり、今後、継続して防犯活動を行っていくためには、活動していただける若い世代などの人材の確保が必要であることから、後継者の育成や確保が課題である。

立石 泰広 議員

長時間勤務の市職員への健康確保に配慮を

問 健康で働ける職場環境を整備するには長時間勤務の是正が必要。市職員の時間外勤務を縮減するためにどのような措置を講じているか。

答 毎週木曜日と職場または個人が選択した曜日の週2日をノー残業デーとしている。時間外勤務の終了時間を事前に申請し、午後10時までに退庁するなどで縮減に努めている。

でん伝体操など通いの場の継続支援を

問 でん伝体操を行う会場数が今までのように増えなくなってきた。今後どのような継続支援をしていくのか。

答 保健師・管理栄養士が定期的に訪問し体力測定や健康教室を実施している。健康づくりボランティアなどに担い手となっていただけるよう働きかけ、活動を継続支援する。



でん伝体操会場